

平成29年度包括外部監査結果に対する措置状況（教育委員会）

監査テーマ: ①出資団体の財務事務の執行及び経営管理について
 ②八戸市立図書館及び八戸市博物館にかかる財務事務の執行について

令和元年10月末現在

指摘区分		報告書 ページ	所管課名	指摘事項名	指摘概要	措置の実施状況	措置 状況
結果	意見						
	24	129	図書館	図書館の図書紛失予防策について	持ち出し防止装置が未設置である図書館本館1階の不明本が、分館に比べて多い。持ち出し防止装置の設置が有効であるが、予算上のハードルが高い。死角となっている文庫コーナーの移動、防犯ミラーの設置や館員の巡回をより頻繁に行うなどの対策を検討すべきである。	平成30年度から、全館職員による巡回を定期的に行った。また、本館において、紛失の多い文庫本コーナーの一部移設を行った。	措置済
	26	131	図書館	蔵書回転率について	本館、移動図書館、分室、南郷図書館では、蔵書回転率が全国平均を下回っている。蔵書回転率が低いということは、費用対効果が逡減しているという意味である。蔵書回転率の低下に歯止めをかけるために、何らかの対策が必要である。	平成30年度から、市内の小中学生に図書館の利用案内チラシを配布するとともに、蔵書回転率低下の著しい分室について、市広報紙への掲載や館内掲示によるPRを行った。今後は、利用状況に応じた資料構成となるよう、本館、分館及び分室間で資料の入れ替えを継続して行う。	措置済
	29	135	図書館	図書館利用者からの要望や利用実態の把握について	利用者アンケート未実施の本館において、図書館利用者からの要望を把握するため、利用者アンケートの実施が望まれる。また、図書の貸出者のみならず、図書館利用者全体について、様々な観点から利用実態を把握するために、今後、定期的に利用実態調査を行うことが望ましい。	平成30年度から、本館及び2分館において、利用者アンケートを実施し、意見、要望及び利用実態の把握を行っている。	措置済
	30	136	図書館	八戸ブックセンターとのより一層の連携について	ブックセンター利用者に対し、図書館の存在を再認識させ、魅力・活用方法を具体的にアピールしていくことが必要である。現在は図書館の行事・お知らせをブックセンターのHPに掲載する等の連携に留まっていることから、より一層連携する方策を具体的に検討する必要がある。	平成30年度から、図書館及びブックセンターにおける同一テーマでの展示のほか、ブックセンターでの図書館所蔵の本の展示など、ブックセンターと連携した企画を実施している。	措置済
	31	137	図書館	八戸市立図書館雑誌スポンサー制度の見直しについて	図書館が購入する雑誌の代金を事業者が負担することにより、事業者が広告を行う制度であるが、平成28年度からは利用事業者がない状況である。事業者側にとって広告効果が見込めなければ資金拠出には慎重になるため、制度を見直し、広告効果の上がる手法を検討するとともに、事業者への一層の周知を図ることが望ましい。	平成30年度から、他都市の状況調査結果を踏まえ、事業者がより利用しやすい制度とするため、図書館が選定した雑誌に加え、スポンサー自らが雑誌を提案できるよう要綱を一部改正した。また、令和元年度から、市内企業へ当制度の周知を行った。	措置済

指摘区分		報告書 ページ	所管課名	指摘事項名	指摘概要	措置の実施状況	措置 状況
結果	意見						
	33	140	図書館	備品台帳の作成について	備品管理について、備品カードにより行っているが、一般的に備品管理については、固定資産台帳を作成し、一覧性があるものを使用することが多い。本館、分館とも共通様式の固定資産台帳を作成し、適正に管理する必要がある。	令和元年度から、本館及び別館で共通の備品台帳を作成した。	措置済
	34	151	図書館	指定管理者の公募における競争性が発揮される仕組みについて	現状の指定管理者制度が、複数の事業者の参入が見込まれ、競争性が発揮される制度運用になっているかを改めて検証し、課題や問題点を見つけ、必要に応じて次回の募集までに見直されることが期待される。	令和元年度から、次期指定管理者の公募情報について、市ホームページでの周知に加え、市内及び全国の図書館等の指定管理受託実績のある企業への周知を図り、競争性を確保した。	措置済
	37	153	図書館	指定管理業務における燃料費の精算について	現行の「指定管理者燃料負担金運用基準」において、燃料油の国内価格が著しく上昇した場合は、指定管理者から市に増加負担分を請求できるのに対し、著しく下落した場合には、精算できるようになっていない。 燃料費については精算項目とすることが望ましい。	令和元年度から、燃料費の単価が上昇した場合に加え、下落した場合にも指定管理者と市との協議に基づき精算できるように燃料費精算運用基準を改定した。	措置済
26		175	博物館	備品の管理について	八戸市と南郷村の合併後すでに12年ほどが経過しており、その当時からある備品も少なくなっていると考えられるが、南郷村に帰属していた備品についても現存する備品については現物の管理と台帳上の管理を適切に行う必要がある。	平成30年度から、現物と台帳を照合して適切に記載し、台帳が未作成のものは台帳を作成した。	措置済